

星屑

May 07

No. 386



桜と月

撮影日 3月28日 16:45

撮影 Tommy

熊本県民天文台

一般公開 開始から 四半世紀！ 大勢の仲間が支え続けて ここまで



暖かい春の、静かな25周年

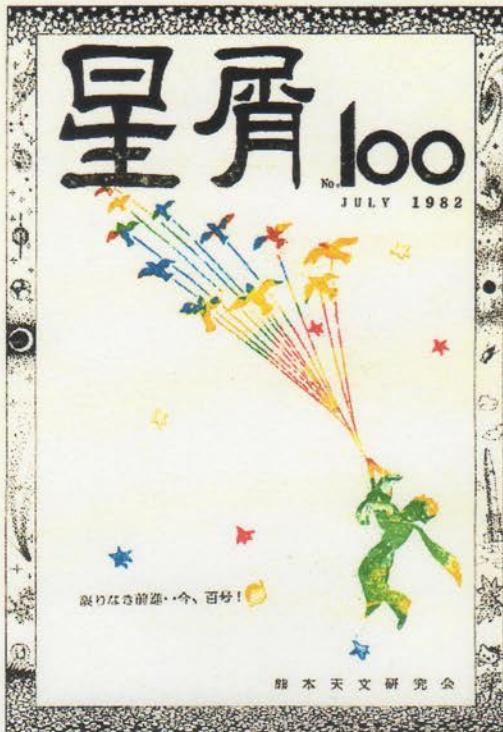
今年は暖冬で桜の開花が早まつたり、急な寒波襲来で花の盛りが長く続いたり。これも地球温暖化の影響かと世間を騒がせた。それにしてもこの冬、九州はほとんど雪が降らない暖かな冬、そして特別暖かな春だった。

今年の1月は、小学校2校からの団体観望と、国立天文台と連携した「ALMA講演会」の開催もあって、1月としては異例な約300名にも上る運営実績になった。県民天文台は、開設25周年を迎える今でも、新しい取り組みを重ねて相変わらずの人気を保ち、全国の公開天体観測施設の中でも「特筆に値する」という評価を受けているようだ。

これからの4月末から5月初旬にかけての連休頃は、年度替わりの決算や事業報告書の作成に追われ、連休明けの定期総会に向けて諸準備に忙しい時期に当たる。来台するお客様も増えると予想されるので、運営にあたるスタッフも、家族サービスと来台者への解説などで、きっと多忙な毎日になると思う。25年前の今頃は、大勢の仲間が、できただばかりの天文台で、当時の31cm望遠鏡を使い天体観測や観望の練習に夢中になっていた時期だ。

開所式・記念講演会と一般公開の開始が目前に迫っていたから、その緊張は半端ではなかったのだと改めて思い出している。

掲載した記念写真は、開所式が終わり、市内に場所を変えて記念講演と記念パーティーを終えたときの撮影。資金集めから場所探し、地元の説得や協力依頼、土地の整地、建物の建設、平行しての望遠鏡の規格決定と発注など、気が休まることがないほど走り回られた宮本さんが、村山定男さんと肩を組み乾杯している様子にその歓びが溢れている。あの時の例えようのない歓びを思い出しつつ、いま、静かに25周年を迎えている。



5月号は「星屑」386号

機関誌「星屑」は、かなりの期間「月刊」での発行が続いている。ずっと月刊だったと仮定しても32年分にあたる。糸余曲折を経て今のスタイルに落ち着いている訳だが、天文現象の案内や天文解説より、天文台で起こった出来事や観望会の記録など、その時に県民天文台では何が起り、どのように対処したのか、それはなぜか、などを、できるだけストレートに会員や他県の天文団体などに伝えることに重点を置いている。

熊本天文研究会が、地域の協力を得て県民天文台を作り、一般公開を始めたときの「星屑」がちょうど100号だった。その表紙はカラー多版刷りの力作で、当時私たちが手にすることのできた印刷技術をフルに駆使したもの。そこには「限りなき前進・今、百号」と記されている。

その思いが、大勢の会員や運営委員の思いとして受け継がれて、25年後の今につながっている。



シンボルマークは「星ウサギ」

初代の天文台は、自然たっぷりの里山に接していたから、周囲にはたくさんの野ウサギが生息していた。バス通りから松田医院の角を曲がり、丘を登る細くて急な坂道を駆け上ると、ぴょこんと立ち上がってこちらを見ている野ウサギに良く会つたものだった。それで、登り道には「星見坂」と名付け、天文台のマスコットキャラクターは「ウサギ」に決まったわけで、星の世界を「ほうき星」だか「流星」だかに乗って自由に飛び回るイメージが県民天文台の性格をうまく表現したと思う。



天文台移転を機に規模を拡大

1993年の早春に現在地=塚原古墳公園内に移転、建物の規模は2倍以上になり、すぐに望遠鏡も41cm鏡へとグレードアップ、新しい挑戦が始まつた。近年は、城南町を通る道路が国道に昇格(266号)、その周辺への商業施設の進出や集積などで、随分と空が明るくなっている。「星空の見えるまちづくり」を掲げ、町民とも協力して上方光束ゼロの防犯灯導入を実現したが、光を溢れさせないまちづくりの一層の推進が不可欠になっている。

3/21(春分の日) 宇城市松橋町で NPO・ボランティアとふれあう1日



宇城・上益城地区で初めて

NPO・ボランティアとふれあう1日が開催されました。地域で活動するNPO法人やボランティア団体の日頃の活動を知ってもらい、同時に行政とNPOとの協働のあり方をさぐる目的です。

今回は、HIヒロセなど企業の協力も得て、食育、子育て、障害者との共生、日常生活でのスポーツの振興、社旗教育や環境保全といった多彩な団体が参加しました。



障害者も一緒に演奏



オープニングはライブ演奏

朝早くから、参加各団体のスタッフ等が集合して広い体育館内に会場を設営、10：00からイベントが開始されました。オープニングは山都町で障害者と協働して楽器つくりや演奏に取り組む団体のライブ演奏。一気に雰囲気が盛り上がりいました。

シンポジウムや人形劇も

当日は、NPOとの協働をテーマとしたシンポジウムや城南町のボランティアグループによる人形劇の上演も。その後、各団体の展示や体験。天文台の空気ロケット遊びは格別の人気でした。





地元の食材で昼食も提供

昼食には、美里町（旧中央町）にある人気のパン屋さんで特別に焼いて頂いたパンを使い、地元産の卵やウインナー、生野菜もたっぷりの特製ホットドッグが提供されました。

望遠鏡や天体写真、星屑も好評！

県民天文台からは、ライトブリッジ望遠鏡を持参、その大きさに参加者は目を見張り、天文台にはもっと大きな望遠鏡があると知って、もう一度ピックリしていました。

美しい天体写真を表紙に使った「星屑」1年分の展示には、各参加団体や行政機関からの参加者もピックリ、NPOの交流促進に取り組む人達からも「すばらしい!」「ここまでやっているの!?」の声が上がるほど。天体写真を見ての質問もたくさんありました。上方光束ゼロの防犯灯を、感動の面持ちで手にとる人もいて、準備の苦労が吹き飛ぶ想いでした。子どもが空気ロケットで遊び続け、大人達の滞在時間が長くなり、効果を激賞する声も!!



☆北天竺紀行（その11）☆

白鳥

「チャイを飲むか？」オーナーは静かに言って、奥さんにチャイを頼んで出て行ってしまった。

後日談になるが奥さんから聞いた話では祭りのために、（オーナーの分も含めて）家族の服と、オーナーへのプレゼントとして宝石箱を買ってきただけに、オーナーは不満で夫婦で話をしているところに僕がやってきたようだった。これも後日談になるが、オーナーからその宝石箱を1万円で買わなかつたけど。

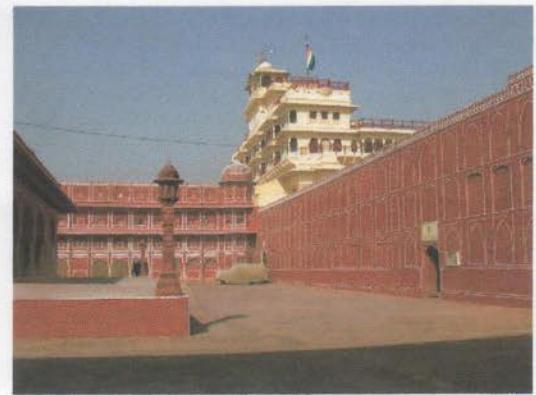
また、通りにたくさんいた猿は「モスキートモンキー」と呼ばれる種類で、ニホンザルくらいの大きさと体長は小さいが食べ物を手に持っていると襲ってくることもあるそうだ。まあ、日本でも猿のいるところで食べ物を持っていると襲われることがあるそうなのであまり変わりはないが。ゲストハウスに5mくらいの長い竹竿が置いてあって、なにに使うのだろうと思っていたら、これを使ってときどきモスキートモンキーたちを追うのだそうだ。インドにはもう一種が人里にいるそうだった。僕は遭遇したことがなかったが体長が70cm前後くらいで、モスキートモンキーよりは大きめ。ハヌマンラングールというらしいが、ハヌマンとはヒンズーの猿の神様というよりは孫悟空のモデルになった猿と言った方がわかりやすいのかな。寺院によくいるらしい。性格はおとなしいとのことだが人を襲うこともあるそうだ。でかいだけにいやだな。

「今日はどこに行く？」オーナーが戻ってきてきいた。「シティ・パレスか、風の宮殿か」「ジャンタル・マンタルに行きたいな。大きな天文台を見たい」そもそもここに来るのはそれを見たかったからだ。「では、ガイドを呼ぼう。彼なら詳しく説明してくれる。」オーナーのバイクでシティ・パレスに行く。でも、乗って2~3分でついてしまった。本当に近い。シティ・パレスの前にバイクを置いて、オーナーの知り合いのガイドと一緒にジャンタル・マンタルに向かう。と、いっても隣らしいが。その前にシティ・パレスの中を通っていったので途中での展示物を見ながら向かうことにする。シティ・パレスは街の中心にある7階建てを中心とした一区画でマハラジャが住んでいるとのこと。たしかに、マハラジャと孫が車で出かけるのに見学の途中で出会ってしまった。全体を外壁が囲み、広大な敷地内に内庭・庭園・建物がある。建物はマハラジャが暮らす建物と博物館になっている部分に分かれている。後で博物館は見て回ることにしたが、外壁にも歴代のマハラジャが使用してきたものが展示されていてせっかくだからとそれらを見ながらジャンタル・マンタルに向かうことになった。ちょっと、日本人の僕には玉石混交といった感じがした。

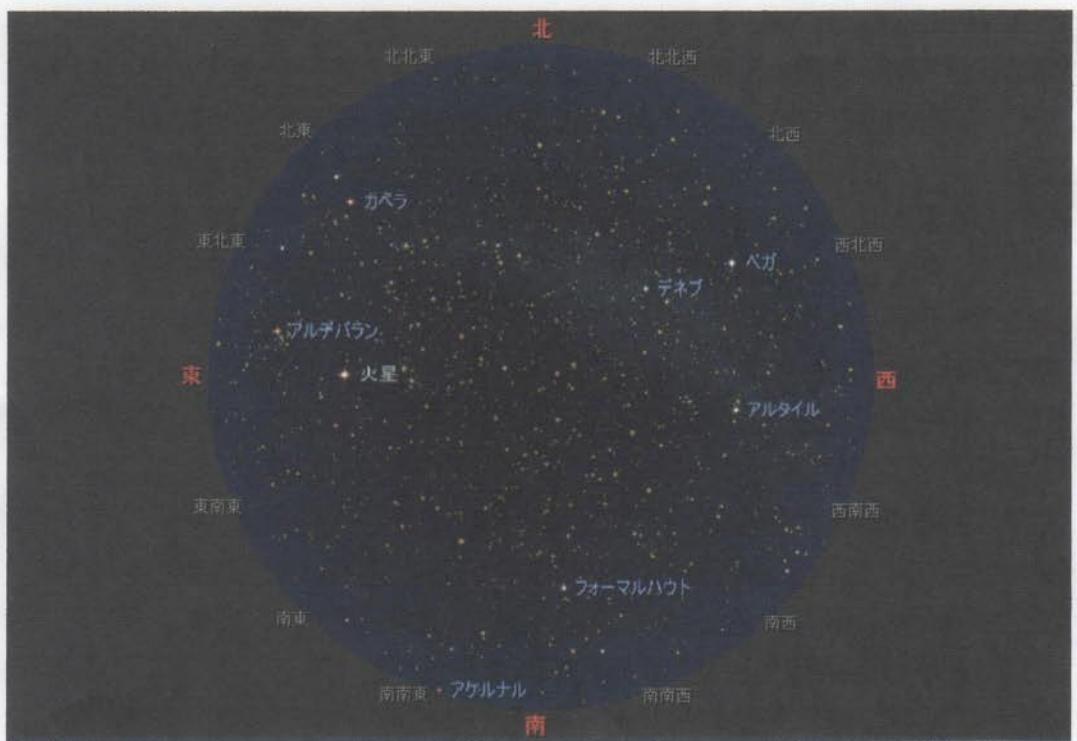
(続く)



シティパレスでの展示品
マハラジャが使っていた輿らしい。



「貴賓謁見の間」の建物を囲む壁



2005年10月25日21:30のインド・ジャイプールでの空。
少々かすみ気味だったが、都心に近いにもかかわらず空は暗くて火星がきれいだった。

☆☆☆ ちょっと一眼

Poem & Illustration

4月に入つてすぐは、びっくりするような寒い日が続いたのですが、さすがに最近は温かくなってきました。でも、やつと春らしいお天気になった時にはもうすっかり葉桜・・・まともな花見ができなかつたなあ・・・

夜空のほうも、いまひとつ。黄砂もひどく、なかなか綺麗な夜空にお目にかかりません。特に、週末になるとお天気が崩れるように感じるのは、気のせい?

透明度があまりよくない春の空。おとめ座では一等星のスピカだけしか見えないのがごく普通。星座の形を辿れるような見え方をしてくれることはほとんどありません。本当に暗い夜空だと、ちゃんと乙女の姿に見えるのでしょうか?星図を見ても、さっぱり人の姿に見えないんですけど・・・

ところで、おとめ座といえば銀河団。あの、まるでS F の1シーンのような写真を、いつか撮ってみたい・・・なあんて、夢見るこの頃。



予感

このあたりにね
おとめがいるのです
スピカしか見えませんけど
ね

黄色いベールをまとって
春はやってくる

ほんのりと
恋心色に染まった花が
咲きそろうころ

胸のうちで
銀河の群れが
ざわついている

あすは 雨になるの だろう



By Dio

2007年3月の県民天文台～運営日誌より～

開台率 11日／14日 78.6% (総開台日数14日)
 一般来台者数 307名 会員来台数 38名

日曜	天気	来台数	担当運営	記事
2日 (金)	晴	2名	小林J 立川・西嶋 艶島 山田♂	土星、月、M42、ミザール（最高の透明度、最低のシーイング） とっても熱心な親子でした。小6の男の子。ケータイで土星と月の撮影にはまり込んでいました。 例によって手持ちコリメートの土星と月星座の固定撮影・・・西嶋
3日 (土)	曇	4名	小林M 西嶋	夕方きれいに晴れていたのに、開台したとたんに曇りました。お客様は雲の合間にちらりと見える月を見、少し天文台のお話などして「また雲一つない晴れた日に来ます。」と言って帰られました。
4日 (日)	晴れの ちくもり	なし	艶島	夕方から一気に曇りました。明日から寒気が来るそうだ。今日までの暖かさとは対照的みたい。 300mmレンズのテスト。雲が多くて数枚で断念
8日 (水)	晴れと きどき 曇り	1名	艶島	西日本新聞社より1名取材
9日 (金)	晴れ	2名 50名	西嶋、高田 山田 艶島	金星、M42、シリウス、リゲル、ペテルギウス 山田さん来台 水俣市深川小学校で「星を見る会」 金星、シリウス、オリオン大星雲、土星、電子紙芝居
10日 (土)	雨		艶島小林M 小林J西嶋 中島	Talk About ・星屑発送作業 ・総会について 5月13日(日)に実施
11日 (日)	晴れと きどき 曇り	1名	小林M 艶島	金星、土星 今夜は寒い！
13日 (火)	晴		艶島	M86を撮影

日曜	天気	来台数	担当運営	記　事
17日 (土)	晴れ	9名	中島、艶島	金星、土星、シリウス、ベテルギウス、M42、M37、M45など 元気な子ども二人が大はしゃぎ。おじいさんも私の肩につかまりながら何度も土星を見ては驚きの声を上げていらっしゃいました。ちょっと感動ものでした。
18日 (日)	晴れ	なし	艶島 小林M 白鳥 熊大天文部 4名	途中で雲も流れることがあったけれど、おおむね晴れ。昼間にくらべて風も吹かず、土星がきれいでした。 土星をビデオ、デジカメ、携帯等で撮影
21日 (水)	晴れ	230名	艶島・中島	「NPO・ボランティアとふれあう一日」宇城市で行われました。 空気ロケットが大人気。天体写真展も好評でした。
25日 (日)	晴れ	5名	艶島 仲山氏夫妻 白鳥	月、土星、NGC2903、M41、シリウス、ベテルギウス、カストル、ミザール 白鳥さんが運営委員見習いとして金曜日に来台して下さるそうです。
30日 (金)	快晴	3名	西嶋・白鳥 艶島	金星、シリウス、土星、月、M42、スバル、ヒアデス、アルデバラン、ベテルギウス 月のケータイ撮影にお客様も挑戦、見事に写っていました。 白鳥さん初運営。なかなか金曜も賑やかになりそうです。連続3回晴れました。次回も晴れるでしょう。記録は何回続くか?
31日 (土)	雨	1名	艶島	市内泉ヶ丘小から、昨年の観望会の御礼に来台されました。天文教育やIT教育などのについて意見交換しました。

さくらの開花が早い?と前号に書いておりましたが、実際はそんな事もなかったですね。自然相手というのは、つくづく難しいものだと思いました。散り始めとはいえ、原稿作っている今は、まだ満開を保っている木もありますし…、入学式も良かったのではないかと思いました。ソメイヨシノ以外で花が緑色の、少し変わった品種はこれから咲き始めるので、探してみるのも面白いかと思いますよ。ヒントは熊本城三の丸です。

☆5月の天文現象&行事☆

- 2日(水) 満月(09:09) 八十八夜
からす座Rが極大(6.7~14.4等) ヘルクレス座RUが極大(6.8~14.3等)
- 4日(金) 17P/ホルメス彗星が近日点通過
- 6日(日) みずがめ座流星群が極大
立夏(りっか…太陽の光熱いよいよ強く、夏の始まり)
- 10日(木) 下弦(13:27)
- 12日(土) うしかい座Sが極大(7.8~13.8等)
P/1998QP54ロネオス・タッカーハート彗星が近日点通過
トークアバウト(天文台にて 20:00~ 変更の場合もあります)
- 13日(日) 熊本県民天文台総会(城南町・歴史民俗資料館にて 10:00~)
- 15日(火) きりん座Rが極大(6.9~14.4等) おとめ座RSが極大(7.0~14.6等)
土星が東経(0.5等 視直径17.9" 環長径40.5" 環短径10.5" 12:19)
- 17日(木) 新月(04:27)
- 20日(日) 夕方の西空に月と金星が並ぶ(18日~20日 低空には水星も見えます)
- 21日(月) 小満(しょうまん…陽気が良くなり万物が満ちる)
- 23日(水) みずがめ座Tが極大(7.2~14.2等)
- 24日(木) 上弦(06:03)
- 30日(水) 135P/シューメーカー・レビー8彗星が近日点通過
- 31日(木) さそり座π星(3.0等)の星食(関西方面から東よりの地方のみ)
小惑星ベスタが衝(22:15 5.4等)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2007年5月号 通巻386号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>

マーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige@kcaohige.com 中島まで